

脳神経外科における
救急医療の中核になる



医療法人社団 KNI 2026年度救急救命士募集！

2024年4月から救急救命士科が新設され、新しい一步を踏み出しました。脳神経外科を中心に地域の救急医療の中核を担い、一緒に救急救命士科を創っていく仲間を募集します！

募集内容

雇用形態
正職員

求人数
3名

応募資格
救急救命士免許取得者および2027年春取得見込み者

業務内容

- ① 救急外来における業務
(診療補助、電話対応、検査室への移送など)
- ② 病棟におけるケア業務
(体位交換、物品管理など)
- ③ 一般外来における業務 ※今後実施予定
(問診、トリアージなど)

※ 法改正に伴い、院内処置の拡大に向けた取り組みも開始予定！

勤務地・勤務時間
北原国際病院：2交替制・3交替制混合

- ・早番 07:30～16:00 (休憩1時間含む)
- ・日勤 08:30～17:00 (休憩1時間含む)
- ・遅番 12:30～21:00 (休憩1時間含む)
- ・準夜勤 16:30～(翌)01:00 (休憩1時間含む)
- ・深夜勤 00:30～09:00 (休憩1時間含む)
- ・早当直 16:00～(翌)09:00 (休憩2時間含む)
- ・当直 16:30～(翌)09:30 (休憩2時間含む)

待遇

月給
新卒給与見込み 203,000円～
(基本給、ベースアップ手当を含む)

手当
ベースアップ手当 3,000円/月
準夜・深夜手当 各4,000円/回
当直手当 8,000円/回
遅番手当 500円/回

給与見直し
年1回(人事考課結果による)

賞与
年2回(昨年度実績6月・12月)
初年度は入職日より調整あり

通勤手当
月50,000円迄 実費支給

住宅手当
月20,000円迄(規定あり)

入職時転居手当
入職時転居が必要な場合距離に応じて
50,000円～120,000円(規定あり)

休日
週休2日、祝日(シフト制)

有給休暇
初年度15日(初年度4月1日入職の場合)

その他休暇
年末年始休暇、リフレッシュ休暇、結婚休暇、
産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇、配偶
者出産休暇、子の看病休暇、忌引休暇等

福利厚生

職員寮
あり(先着順)
北原国際病院隣接、ワンルームタイプ、トイレ・バス別

保険
健康保険・厚生年金
雇用保険・労災保険

その他
制服貸与、学会や講習会等の参加費補助
院内保育園、職員用無料駐車場
慶弔・罹患・罹災給付、グループ内宿泊施設利用補助
病院車両貸し出し予防接種補助 等

応募のしるし

提出書類

- ① 履歴書
(当院所定の様式※当院HPよりダウンロード可能)
- ② 卒業見込書・成績証明書(新卒者のみ)
- ③ 職務経歴書・救急救命士免許証写し(既卒者のみ)

選考方法
① 書類選考 ② 面接(1次・2次)
※面接についてはWebにて実施させて頂く場合があります。

選考期間
1ヶ月程度

2024年4月より

新たに救急救命士科始動！！

2026年度 救急救命士 採用案内

医療法人社団 KNI

お問い合わせ先

北原国際病院 〒192-0045 八王子市大和田町 1-7-23 TEL: 042-645-1356 (採用担当：横溝)

WEBサイト：<http://saiyou.kitaharahosp.com/>



VISION 地域の脳神経外科救急医療の中核を目指して

当院は脳神経外科専門病院として、東京・八王子市を中心に多摩地域の脳疾患の救急患者さんを受け入れています。救急救命士科では、救急搬送やWalk-inでいらしゃった患者さんの問診や神経所見の観察を行い、救急担当の医師や看護師へ病状を報告します。脳塞栓症やくも膜下出血の診断などで緊急の手術や血管内治療に移行する場合には、患者さんの到着から治療開始まで迅速に対応する必要があり、時間との勝負となります。トリアージも行い、救急医療を時間の無駄なく提供できるように多職種と連携しながら対応しています。また、縫合などの処置介助や転院搬送の手配、ご家族への入院説明など、業務は多岐にわたります。救急救命処置拡大も導入するなど、今後も活躍の場を広げていく予定です。

救急外来での業務の紹介

臨床業務

一般・ホットラインの電話対応
神経所見の観察・記録
重症度トリアージ
縫合や点滴穿刺の介助

付随する業務

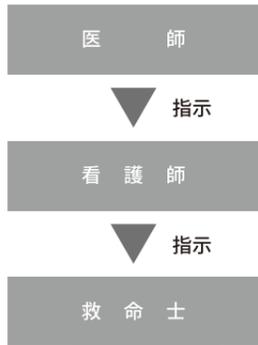
電子カルテIDの作成・受付
医療資材の在庫確認・補充
患者家族への入院に関する説明と同意取得
会計案内



救命士による患者家族への入院説明の様子

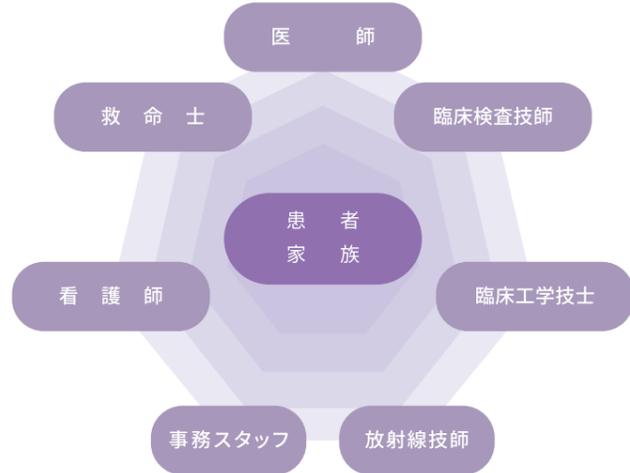
他院では…

医師や看護師からの指示を受けることが多い



当院では…

医師や看護師からの指示を待つだけでなく、救急救命士自ら状況を判断し、患者の神経所見などを観察・報告し、その上で指示を仰ぎます。救急外来のチームの一員として、能動的に診療に参加しています。



臨床業務以外の活動



院内向けに勉強会を開催

BLS講習会を開催したり、救急外来で取り組んだ医療安全についての発表などを実施しています。



多摩地区病院救急車合同訓練

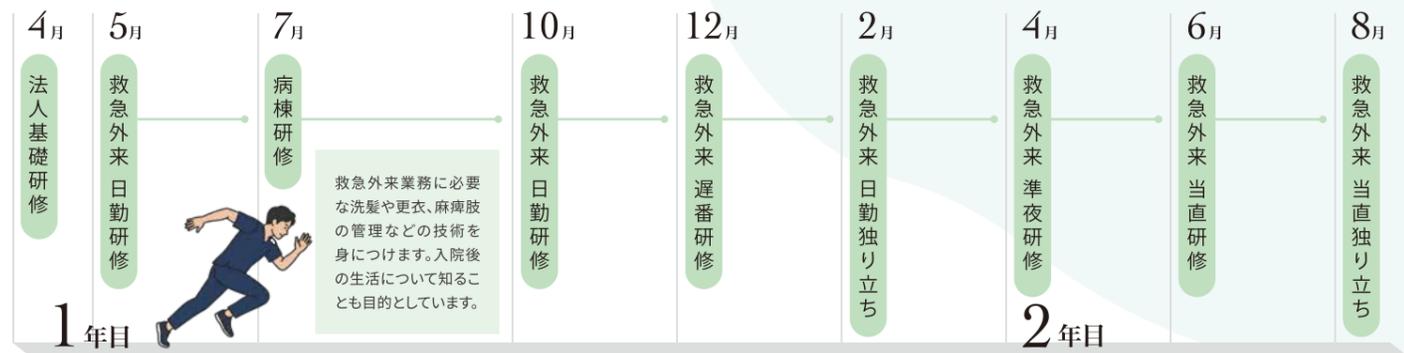
6想定を行い、より良い隊活動するためのディスカッションも行われました。今後の病院救急車導入に向けて、学びを得ました。



救急救命士養成校開設の支援事業

ベトナムの養成課程の指導者候補の医師に対して、三角巾での止血法や初期評価、ログロール等の技術を指導しました。

教育スケジュール(新卒の例)



北原で働く救急救命士を紹介!!



野村 孔亮さん
救急救命士2年目
東海学院大学卒

法改正により病院勤務の救急救命士は増えてきましたが、実際は法的な制約などから「看護助手」としての業務に留まるケースも少なくありません。私が当院への入職を決めたのは、2024年に「救急救命士科」が新設され、資格を活かして能動的に挑戦できる環境に魅力を感じたからです。現在は、特定行為の実施や病院救急車の運用など、職能の拡大を目標に日々取り組んでいます。

現場では医師・看護師だけでなく、各技師とも密に連携します。月1回の勉強会で互いの専門性を学び、実践的な医療知識を深められるのも特徴です。脳神経外科を専門とする当院では、迅速な対応が予後を左右します。多職種との連携によって早期治療を開始し、患者様の命を繋ぐ瞬間に立ち会えることは、この仕事の最大のやりがいです。



高川 航輝さん
救急救命士8年目
杏林大学卒

北原国際病院 救急救命士科長の高川です。2024年に新設された当科は、『救急医療の中核になる』ことを目標に日々邁進しています。当法人の最大の魅力は「繋がり」です。科の設立時、不安を抱える私の背中を押してくれたのは、理事長をはじめとする多職種の仲間たちでした。外来や病棟で共に汗を流し、意見を交わし、築いた絆。この「繋がり」こそが、更なる挑戦への原動力となっています。ここでは職種の垣根を超えた学びがあり、単独では得られない知識や経験、そして頼れる仲間が得られます。現在は、特定行為の実施や病院救急車の運用を具体的目標として掲げています。科内はもちろん、多職種と「繋がり」を持ち、共に患者様を救う『救急医療の中核』を目指しませんか？ 新しい一歩を共に踏み出す仲間をお待ちしています。

採用説明会お申し込み
はコチラ



北原グループの救急救命士のこれまでのあゆみと今後の取り組み

- 2016年 救急救命士の採用を開始 病棟での勤務に従事
- 2017年 病棟に加えて救急外来での勤務が開始
- 2020年 新型コロナウイルスをきっかけに救急外来専従となる 新型コロナウイルス対応の最前線として奮闘
- 2023年 科として北原国際病院・リハビリテーション病院の新型コロナウイルス感染者対応も担う
- 2024年 救急救命士科新設、ベトナムにおける救急救命士養成校開設のための支援事業へ参加 第2回多摩地区病院救急車合同訓練への参加
- 2025年 救急救命士科として初めての新卒救命士を迎える ベトナム支援事業にて技術指導を実施
- 2026年 処置内容拡大に関する委員会の設置*
- 2027年 処置内容拡大の導入*
- 2030年 病院救急車の導入*

*今後の予定となります